

令和3年度 優秀実践校
本庄市立中央小学校

都道府県名：	埼玉県
住所：	本庄市緑1-16-1
電話番号：	0495-21-2361
児童数（生徒数）：	578名
教職員数：	34名
地域の概要：	本庄市は、埼玉県の北西部に位置する市である。人口は約7万8,000人。小学校は12校、中学校は6校ある。本庄市の教育は、盲目の国学者である塙保己一先生の生誕の地にちなみ、塙保己一先生が遺したことば「世のため 後のため」の理念のもと、自ら未来を切り拓くことのできる人材の育成を目指し取り組んでいる。

① 学校の紹介

蔵書数：1万2,154冊

学校司書の有無：無

勤務形態：無し

司書教諭の有無：有

教育目標・読書活動に関する目標、標語など：

○学校教育目標

かしこく やさしく たくましく

○学校図書館のねらい

・児童の読書意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。

・学び方の指導を充実させ、望ましい学校図書館の利用態度を育む。

(図鑑や国語・漢字辞典の使い方、索引や目録から調べたい事柄を探す活動などについて指導することで、国語の授業だけでなく総合的な学習の時間や社会、理科の学習など各学年の実態に応じて幅広い内容を学ぶことを目的としている。)



読書の木の取り組み



学年文庫(廊下に設置)

② 読書活動の取組

■ 定期的に行われている取組の概要

・全校朝読書

毎週月曜日15分間、朝読書の時間を設け、児童が読書に親しめるようにしている。

・学年文庫の設置

各学年の廊下に、学年の発達段階に合わせた本を置いている。

・年間を通して、読書活動(「読書貯金」)に取り組んでいる。

低学年は冊数、3年生以上は目標のページ数を達成することに「読書貯金カード」を校長に見せに行く。職員室前の廊下に児童の氏名を掲示したり、クラスで達成率がわかるように工夫したりしている。

・本庄市立図書館との連携

毎月1回昼休みに、本庄市立図書館の移動図書館が来校する。その際、団体貸出を利用し、児童の読書活動や学習活動に役立っている。

■ イベント的に行われている取組の概要

・読書月間の取組

読書ビンゴや図書委員による読み聞かせ、読書感想文コンクール入選作品の紹介を行っている。

・ボランティアによる活動

読み聞かせボランティア「ひなたぼっこ」が本の整理を行っている。また、本庄市立図書館の職員やボランティアによる1年生を対象とした「出張お話し会」を行っている。

・本の修理講習会

本庄市立図書館の職員に来校してもらい、図書委員会の児童に本の修理の方法を指導してもらっている。

■ 成果と課題

本が身近にある環境作りを目指し実践したことで、年間の読書貯金の達成率が20%以上向上した。また、学校図書館を利用する児童数や貸し出し冊数も増加した。新型コロナウイルス感染症予防の観点から学校図書館の活動にも制限されることもあるが、このような時だからこそ本のもつ力を信じて良書を児童に薦めたい。今後は、自分の好きなジャンルの本以外にも様々な本との出会いをサポートしていけるように、本の配架の方法やレイアウトの仕方、選書なども工夫していきたい。